

(一社)四国ツーリズム創造機構の「2025年度事業計画」を公表いたしました

6月16日（月）、（一社）四国ツーリズム創造機構は、「2025年度の事業計画」を公表いたしました。

2024年の年間訪日外客数は約3,686.9万人と、過去最高であった2019年の3,188.2万人を約500万人上回り、過去最高を更新しております。そのような、四国においては、外国人延べ宿泊者数は約162.2万人泊となり、前年比176%となる一方、日本人延べ宿泊者数は約1,264.7万人泊となり、前年比88.9%、2019年比95.1%に留まっています。

今回発表しました「2025年度事業計画」では、これらを念頭に、各種プロモーションを含め四国ブランドの確立と国内外からの誘客拡大に向けてさらに取り組んでいきます。

具体的には、四国観光・旅アプリ「しこくるり」や四国観光商談会（東京・大阪）、「持続可能な観光」の推進、アドベンチャートラベルに対応するスルーガイドの育成、DMP（データ・マネジメント・プラットフォーム）の利活用の向上などといった、これまで取り組んできた事業を継続します。そして、新しい取り組みとして、国内誘客向けに四国のジオパークを切り口にした「ジオツーリズムの推進」や、近年の酷暑で夏に出控え傾向にあることを見据え、新たな四国の魅力として、四国でひんやり過ごせるスポットを五感に訴えながら発信するキャンペーン（キャンペーン名：キーンと四国！しこくる）を実施してまいります。

また、インバウンド向けには、これまで大阪・関西万博に向けて「旅マエ」プロモーションを重点的に取り組んでまいりましたが、これらに加え、「旅ナカ」「旅アト」のプロモーションとして、万博期間中に大阪・難波でプロモーションを実施するとともに、四国を訪れた外国人旅行者自らがSNSを通じて情報を発信することを誘発する事業を展開してまいります。

今後も、四国4県や観光協会、域内DMO等と情報共有、連携強化を図りながら、オール四国での観光誘客の拡大と「四国ブランドの確立」に繋げていきます。

(写真)

○ 半井代表理事、桑村本部長による記者会見の様子



(一社) 四国ツーリズム創造機構公式HP
URL : <https://shikoku-tourism.com/>

お問合せ

(一社) 四国ツーリズム創造機構
担当：神野、藤井
TEL 087-813-0431

2025年度 事業計画基本方針

2024年の年間訪日外客数は約3,686.9万人となり、2023年比では47.1%増、2019年比では15.6%増と、過去最高であった2019年の3,188.2万人を約500万人上回り、過去最高を更新した。一方、四国における外国人宿泊者数は約162.2万人泊となり、前年比176%の伸びとなったものの、日本人宿泊者数は約1,264.7万人泊となり、前年比88.9%、2019年比95.1%であった。

2025年度は、日本人の延べ宿泊者数の増加を図るため、酷暑でも涼しく楽しめる四国のおすすめスポットを紹介し、周遊を促進する「キーンと四国!『しこくる』キャンペーン」を展開し、夏場の誘客促進や瀬戸内国際芸術祭の来訪者を四国島内に誘客する施策の展開を図るほか、四国観光・旅アプリ「しこくる」やツーリズムEXPOジャパンへの出展、四国観光商談会（東京・大阪）などの事業を継続する。

また併せて、徳島県ではアニメの祭典「マチ★アソビ」、香川県では「かがわ総文祭2025」、愛媛県では「art venture ehime fes 2025」、高知県では連続テレビ小説「あんぱん」の放送にあわせて開催する、高知ものべがわエリア観光博「ものべすと」が展開されることから、JR周遊促進事業や航空会社とのタイアップキャンペーン、四国まるごとドライブパス！などと連動させ、四国への誘客を図る。

インバウンド向けでは、2025年度は「大阪・関西万博」や「瀬戸内国際芸術祭」の開催年となることから、これまで展開してきた旅マエプロモーションに加え、大阪・関西万博期間中に大阪での旅ナカプロモーションや四国に訪れた外国人旅行者自らがSNSを通じた情報発信を誘発する事業を展開するとともに、「持続可能な観光」の推進やアドベンチャートラベルに対応するスルーガイドの育成や旅行会社等とのマッチングイベントを通じたネットワークの構築、視察ツアーや商談会の開催、国際的な旅行博への出展などを実施する。

また、2022年度に開発した「データ・マネジメント・プラットフォーム（DMP）」については、2025年度も県やDMO、観光事業者などを対象に、ワークショップを開催し、更なる利活用を目指す。

加えて、2026年度以降のアクションプランとなる「第6次四国観光交流戦略」を策定する。

ブラン
ディ
ン
グ
事
業

TEAM
EXPO
2025

マー
ケ
ティ
ン
グ
事
業

「大阪・関西万博」関連事業一覧

四国内外DMOや関係団体との連携強化

西日本の広域連携DMOとの連携による広域周遊観光の推進。また、四国の新しい旅の創造に向けたジオツーリズムセミナーを実施

四国の魅力発信事業

四国の魅力を紹介する特集記事の制作。また、酷暑でも涼しく楽しめる『しこくる』キャンペーンを展開し、夏場の誘客促進を図る。

サステナブルツーリズム推進事業

「四国『持続可能な観光』推進ネットワーク」メンバーと連携し、「サステナブルアイランド四国」のブランドの確立を目指す

四国観光・旅アプリ「しこくる」

「旅ばす」登録施設や「デジタルチケット」の商品の充実化とPRの強化。また、旅パス6ポイントの購入額の改定と有効期限の延長化

航空会社とのタイアップキャンペーン

瀬戸内国際芸術祭に合わせた割引クーポン発行、海外旅行会社のFAMツアーや国際線での動画配信によるプロモーションの実施

サステナブルツーリズム動画制作・情報発信事業

阿波おどりやよさこい祭りをフックに、各県の祭りが地域に根差し、住民の手によって受け継がれてきたストーリーにスポットを当てた動画を制作

アドベンチャートラベルの推進

ATガイドに必要な、国際的な認定を取得するための危機管理研修の実施。ATガイド対象の旅行会社やランドオペレーターとのマッチングの開催やネットワークの構築。また、欧州市場での認知度向上、誘客促進に向け、ロンドンで開催されるBtoB旅行博に出展予定。さらに、A Tを取り扱う旅行会社を招聘し、F A Mツアーを実施。AT商品の造成・販売に繋げる

訪日外国人旅行者の四国への誘客に向けた旅行商品促進事業

東アジア、東南アジア、欧米豪の現地・在日旅行会社やランドオペレーター等を招聘し、FAMツアーと四国内事業者との商談会を実施

To B向け情報発信事業

旅行セールス等で名刺交換した情報を活用し、四国の観光情報を定期的にメルマガ形式で配信するとともに、四国の飲食店・宿泊施設のリスト化やATコンテンツのタリについて、掲載内容のメンテナンスと拡充を図る

欧州向け外国人観光客誘致促進事業

ロンドンに設置したセールス拠点「欧州レップ」を活用し、旅行会社へのアプローチが有効で他の英語圏への拡散も見込めるイギリスを中心として、欧州の旅行会社継続的に情報発信を行い、四国の認知度向上と四国への誘客を図る

旅ナカプロモーション事業

大阪・関西万博にて、徳島県と連携した特別企画展を展示し、四国遍路のPRを実施。あわせて、大阪市難波の観光案内所で対面による四国観光の情報発信を実施し、プラスワントリップ四国の誘客や日本再訪時に四国を検討してもらうためのPRを行う。

事業概要

※主要事業のみ記載

ブランディング戦略

マーケティング戦略

組織戦略

- 関係団体との連携
 - ◆機構会員との連携強化
 - ・四国各県で意見交換会などを実施
 - ◆四国内外DMOや関係団体との連携強化
 - ・四国内外DMOや四国経済連合会、四国アライアンス等と連携を強化
 - ・西日本の広域連携DMOとの連携強化
 - ◆ツーリズムEXPOジャパン2025出展事業
 - ・四国4県、JR四国、本四高速と共同で、9月25日～28日にAichi Sky Expo（愛知県）で開催される「ツーリズムEXPOジャパン2025」に出展
 - ◆県外事務所と連携した情報発信
 - ・首都圏、関西圏のメディア等への観光情報を発信
- プロモーションの改革
- オウンドメディアの改革
- 持続可能な観光への取組
 - ◆サステナブルツーリズム推進事業
 - ・「四国『持続可能な観光』推進ネットワーク」による、四国が持続可能な観光地である「サステナブルアイランド四国」のブランドの確立を目指す
- 人材育成・住民満足度向上への貢献
 - ◆公開講座
 - ・香川大学大学院地域マネジメント研究科と連携し、観光に関する公開講座を実施

- 観光コンテンツの広域組成・プロモーションと観光消費額の向上
 - ◆四国観光・旅アプリ「しこくる」
 - ・飲食店、観光スポットやデジタルチケットの充実を図り、利用者の満足度や利便性を向上させることにより、利用促進を図る
 - ・web版（多言語）では、着地プロモーションを強化することにより、認知度向上、利用促進を図る
- 国内・訪日誘客事業
 - ◆航空タイアップキャンペーン事業
 - ・航空会社2社が展開する、「JAL麗らか四国キャンペーン（4月～10月）」、「ANA誘遊四国キャンペーン（9月～3月）」への支援を行い、首都圏、海外からの誘客を図る
 - ◆四国観光商談会
 - ・首都圏及び関西圏で、「四国観光商談会」を実施
 - 東京商談会（10月6日（月））、大阪商談会（10月16日（木））
 - ◆JR周遊促進事業
 - ・特別企画きっぷの販売、駅レンタカーの利用促進などを展開するほか、海外の旅行会社担当者を対象にしたFAMツアー、タイ旅行博への出展
- 訪日誘客事業
 - ◆アドベンチャートラベル（AT）の推進
 - ・ATに対応するスルーガイドの育成、ネットワークの構築
 - ・ATを取り扱う海外旅行者会社を招聘し、FAMツアーを実施
 - ・ロンドンで開催される旅行博に出展し、「AT」を中心に四国のPRと商談を予定
 - ◆インバウンド地方誘客に向けた四国旅行商品造成促進事業
 - ・欧米豪、東アジア、東南アジアのエージェント、在日ランドオペレーター等を招聘し、FAMツアーと四国内事業者との商談会を実施
 - ◆To B向け情報発信事業
 - ・四国の観光情報を定期的にメルマガ形式で配信するとともに、四国の飲食店・宿泊施設のリスト化やATコンテンツ等について、掲載内容のメンテナンスと拡充を図る
 - ◆欧州向け外国人観光客誘致促進事業
 - ・ロンドンのセールス拠点「欧州レップ」を活用し、欧州の旅行会社継続的に情報発信を行い、四国の認知度向上を図る
 - ◆旅ナカプロモーション事業
 - ・大阪・関西万博に出展する「徳島パビリオン」で、徳島県と連携して四国遍路の「お砂踏み」を特別企画展として期間限定（8月29日～9月7日の10日間）展示
 - ・万博期間中、大阪市難波の観光案内所で対面による四国観光の情報を発信

- 組織・ガバナンス
 - ◆組織の存在価値を高める職員の意識向上
 - ◆風通しの良い、組織風土づくり
 - ◆レベルの高いコンプライアンス遵守（IT、個人情報、著作権等の法令順守）
 - ◆個人の成長、やりがいのある組織風土醸成
 - ◆元出向者との連携強化
- 会員、観光関連事業者との連携強化
 - ◆会員に対する満足度向上への取組
 - ◆会員入会の推進
 - ◆観光関連事業者との連携強化
 - ◆会費制度の検討
- IT基盤の強化
 - ◆ITリスク管理のための機構内ルール確立と運用
 - ◆各種マニュアルの作成
 - ◆情報セキュリティ順守の取組
 - ◆機構内IT化の推進
 - ◆機構内のITナレッジ、スキル向上
- 人材育成
 - ◆機構内での計画的な能力開発、専門性向上のための教育制度の確立
 - ◆観光庁の外部専門人材制度を活用した機構職員の教育
 - ◆働き方改革への取組、デジタル活用による職場の充実
 - ◆プロパー職員の拡充

DMP（データ・マネジメント・プラットフォーム）運用事業

オープンデータ（国内動態、訪日動態、属性）のダッシュボード（可視化）を県、四国内DMO、観光協会や観光事業者などで共有。当機構職員へのスキルアップ講座の実施や自治体、DMO、当機構会員などの関係者にもデータを新規事業構想の際のエビデンスとして活用いただき、訪日外国人の動向を把握したうえで、訪日外国人向けの着地商品の整備など、データに基づいた事業を展開し、四国への誘客に繋げる。